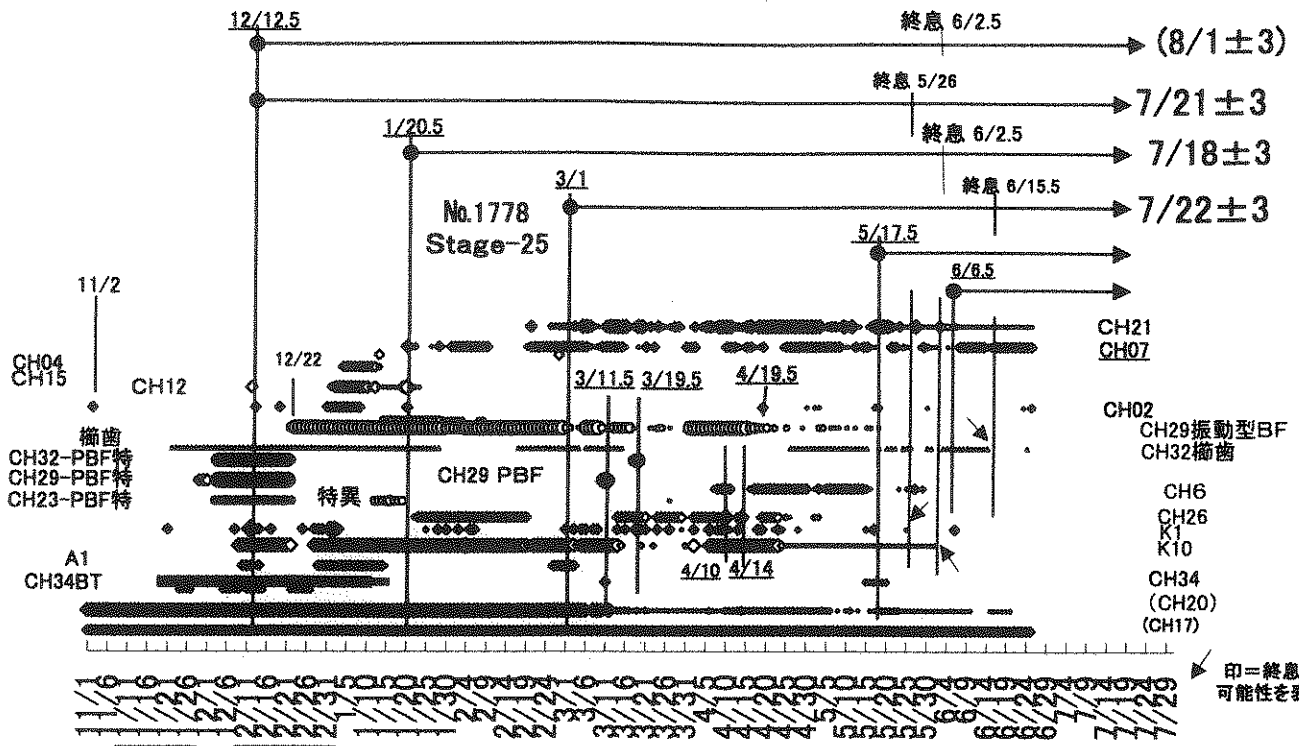
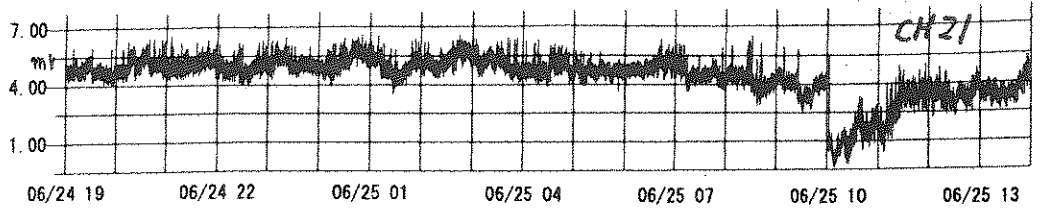


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

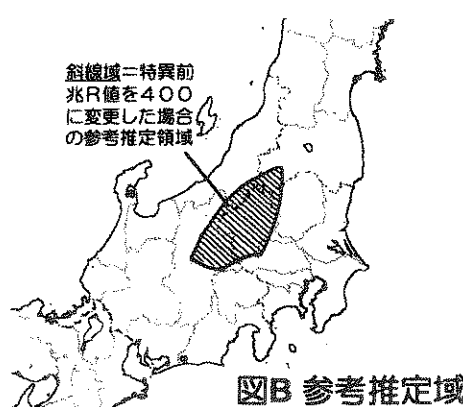
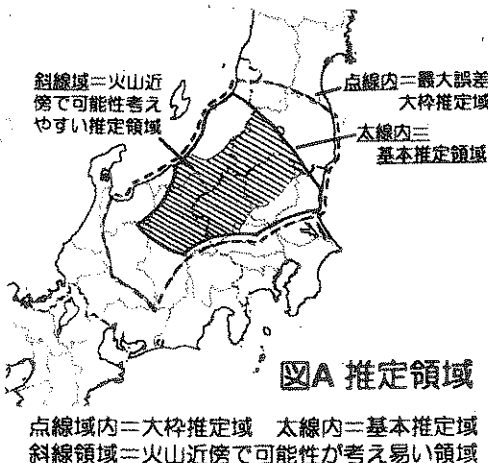
No.1778長期前兆続報 CH21前兆微弱継続⇒7/21±の可能性有

右基線=八ヶ岳のCH21
CH21静穏正常基線は基線電圧値
=5.5 mV~7.0mV 範囲で、安定
した直線基線となる筈。右はまだ
不安定な基線で正常では無い



No.1778長期継続前兆の続報です。
最も早い場合の可能性として、7/6±の可能性も否定できません
でした。但しその場合には、7/7±発生とした場合でも6/24.5に
CH21静穏化が計算されます。本日6/25午後現在、上波形のとおり、
CH21はまだ不安定で正常静穏ではないことから、7/9以前発
生の可能性は否定できます。CH07も振り切れ糸状態継続中。CH

02も短時間糸状特異が出現しました。これらの観測事実から、
7月上旬の可能性は否定されます。次に可能性として考えやすい
のは、上図中にも記しましたとおり、7/21±の可能性です。
この7/21±が仮に正しい場合は、CH21=7/5± CH7=7/10±
時期に前兆終息静穏化の可能性が計算できます。
これを確認することが重要です。今後の続報にご注意下さい



- ◆推定領域：A 図点線領域内=大枠推定
太線領域内=基本推定領域
斜線領域内=可能性考え易い
- ◆推定規模：M7.8 ± 0.5
- ◆推定時期：最も早い可能性=7/21 ± 2
7/12以降前兆継続の場合は再考
- ◇推定地震種：日本列島陸域地殻地震
震源浅い地震
火山にやや近い可能性有
- ◇推定発生時刻：午前9時30分 ± 1時間半
または 午後4時 ± 3時間

※各項目根拠等は続報No.266 資料参照